

# 千葉県食品等の安全・安心に関する 条例の制定にあたって

食は、人の生命や健康の源となるものであり、食品等の安全と安心の確保は、県民が健康で幸せな生活を送る上で、極めて重要です。

私たちの食生活は、社会情勢や生活様式の変化によりその姿を変え、科学技術等の発展や国際化の進展の中で、食品等の安全性にかかわる様々な課題が生じてきています。私たちは、こうした課題に対処し、将来にわたって食品等の安全と安心を確保していかなくてはなりません。

千葉県は、豊かな自然に恵まれた全国でも有数の農水産物の生産地であるとともに、首都圏の大消費地に位置し、多くの食品等の製造・加工施設が存在し、さらには、成田国際空港、千葉港などの物流の拠点を持っています。

こうした特色を持つ本県において、県、生産者、事業者、消費者は、それぞれの責務や役割を認識し、環境に配慮しつつ、食品等の安全と安心の確保に向けて積極的に取り組む必要があります。

食品等には健康への影響を及ぼす要因があるという考えに立ち、この要因が健康に与える可能性や食にかかわる課題などについて、情報や意見の交換等を行うリスクコミュニケーションを促進し、すべての関係者が相互に理解し、共通した認識を持つことが大切です。

食品等の安全と安心の確保は、県民すべての願いであり、その実現に向かって、第一歩から共に力を合わせて取り組んでいくため、この条例が制定されました。